

兵庫 庫医 協会

加古川 高砂

支部 ニュース

No. 252

2018年8月5日

発行

兵庫県保険医協会 加古川・高砂支部

(連絡先) 神戸市中央区海岸通一丁目三三

神戸フコク生命海岸通ビル五階

電話 〇七八 (三九三) 一八〇一

県立加古川医療センター 足立厚子先生を講師に臨床研究会

「各科で学ぶアレルギーで困った 症状の診療と診断のコツ」

加古川高砂支部は7月14日に、兵庫
県立加古川医療センター 地域医療連
携部長 兼 診療部皮膚科部長 兼 神戸
大学皮膚科臨床教授の足立厚子先生を
講師に招き「各科で学ぶ アレルギーで
困った症状の診療と診断のコツ」をテー
マに臨床研究会を開催し、医師・看護師・
養護教諭ら21人が参加した。

生活の中にある憎悪因子を つきとめて 適切な生活指導を

足立先生は「アレルギー性皮膚炎症を
診た場合、膨疹なのか湿疹なのかを見極
める必要がある。膨疹ならば蕁麻疹と
して、治療には抗アレルギー剤の内服
からスタートする。原因究明は、皮膚
テストでは、プリックテストなどの即
時型判定、血液検査では特異的 I g E
と即時型アレルギーを検査する。一方、
丘疹成分のある病変では湿疹・皮膚炎
は接触皮膚炎（かぶれ）として、ステ

ロイド外用剤など外用療法をしっかりと
行うと同時に、皮膚テストではパッチ
テストを2日間添付し、1週間までの
判定など遅延型アレルギーの検査を行
う。アトピー性皮膚炎では、しっかりと
とした外用療法の指導が基本である。
生活の中に増悪因子が隠れていること
が多いので、問診や食事生活指導が重
要である」とした。

また、その他のアレルギーでは、歯
科治療の補綴物に対して、金属アレル
ギー検査（パッチテスト）の証明書を
希望する患者が増えてきていること
や、OAS（口腔アレルギー症候群）・
PFAS（花粉・食物アレルギー症候
群）については、加古川地域は雑草が
多いため、地域の特性や患者の嗜好性
で判断することが大事であるなど、紹

介した。治療に関しては、患者に合っ
たステロイド剤を使って表皮バリア機
能を高めることが大切だが、ステロイ
ドが怖くて使用をためらう患者には丁
寧な説明と適切な指導が必要と解説し
た。

アトピー性皮膚炎の患者へは、「①
しっかりと皮膚炎症を治しましょう、②
顔は、プロトピック軟膏を上手に使い
ましょう、③保湿剤を有効に使いま
しょう、④ステロイドを使うと黒くな
る、しわが増える、日光にあたれない
というのは迷信です、⑤諦めないで、
考えすぎないで、我慢すぎないで、
⑥今を大事にしましょう、⑦デュピク
セントの適応、使用方法も考えていき
ましょう」と締めくくった。

参加者から、「全身のアトピー性皮
膚炎が重症な子どもでも、ステロイド
外用の治療を受け入れない親に対する
指導のコツを教えてください」、「小学
校給食後に運動してアレルギーを起し
た患者に対して、病院紹介を判断する
までの対応手順について」、「お勧めの
抗アレルギー剤はあるのか」などの質
問が寄せられた。

(次号で参加者からの感想を掲載予定)



診療と診断のコツを解説する足立厚子先生



日常診療の疑問について質問する参加者



西日本豪雨の被害に遭われた先生方へ

被災状況をお知らせください

このたびの豪雨災害により被災されました会員のみなさまには、心よりお見舞い申し上げます。協会では会員医療機関の被害状況の確認を進めています。床上、床下浸水などの被害に遭われた先生は、協会までお申し出ください。

被災に関する各種相談・要望、情報提供は、TEL 078-393-1817 組織部まで

☆支部幹事会だより☆

7月5日(木) 19時～於加古川商工会議所 会議室

<報告> 組織現勢、医療情勢、7月臨床研究会、今後の支部企画(医療安全管理研修会・支部総会)、協会50年史支部活動報告について討議しました。



<組織現勢(7月末)>

加古川市・加古郡： 医科 188人 / 歯科 105人
高砂市： 医科 53人 / 歯科 33人

<次回日程> 幹事会には、会員の先生はどなたでもご参加いただけます!!

8月23日(木) 19時～於加古川商工会議所 会議室

お問い合わせは、TEL 078-393-1805 FAX 078-393-1802 担当：沖野まで

☆加古川・高砂支部ニュース

への投稿を募集しています☆

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。



TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802

e-mail miki-o@doc-net.or.jp 担当：沖野まで

「子ども医療費助成と福祉医療」パンフ2018ができました

「中3まで無料」加古川市で拡大

協会は、毎年実施している県下全市町の福祉医療制度調査の2018年度分の結果をまとめました。「子ども医療費」については、新たに加古川市が「中学3年生まで無料」となり、県下41市町の9割に広がりました。結果をまとめたパンフレットが完成したので、医療機関スタッフの学習用や、待合室に置いていただくなど、ご活用をお願いします。

パンフレットは、正会員を対象に月間保団連8月号に同封して順次お届けしています。追加希望等には在庫の範囲で応じます。医療機関や市民に活用してもらうため、非売品として無料で頒布しています。



《お詫びと訂正》

パンフレット表紙、及び、PRポスターの子ども医療費助成制度色分けマップで、加古川市は「通院・入院とも中学3年生まで無料 所得制限なし」(濃いピンク色)で示されていますが、正しくは「通院・入院とも中学3年生まで無料 **所得制限あり**」(薄いピンク)の誤りです。お詫びして訂正させていただきます。

ご注文・お問い合わせは、TEL 078-393-1807 政策運動広報委員会まで

《医療安全管理研修会 開催案内》

「服薬管理の今日的課題」

日程：9月22日(土) 15時～17時

会場：加古川市民会館 会議室3

講演：(株)ネグジット総研 中野 康三氏 / 薬剤師からの話題提供

定員：50名 参加費：1,000円 ※研修会後に受講証を発行します

